

狛江では4月から「第3子から無料」が実現

多摩地域初

こんどは 学校給食を全員無償に



日本共産党
よっちゃん通信
2023 5月号

物価高騰が止まりません。5月も食品の値上げは824品目にも。私たちが行なっている市民アンケートには、「コロナ前より」くらしが苦しい」が74%も占め、市議選の中でも切実な声がたくさん寄せられました。

全国2500以上実施

物価高騰や教育費が大きな負担であることから、全国的に学校給食費の無償化の流れが広がり、2500を超える自治体で実施されています。都内でも、葛飾区や北区、お隣の世田谷区でも4月から実施されました。

無償化求め続ける

日本共産党市議団は、憲法にも「義務教育は無償」とされている、給食は教育の一環であるとして、2018年から繰り返し給食費の無償化を要望してきました。昨年、私は都や国へも、支援を求めよう要望しましたが、市は「狛江市独自で国や都へ要望する考えはない」とし、その理由を「優先ではない」という後ろ向きな態度でした。

しかしこの間「給食費無償化」

「給食費の無償化求める」陳情 自民、公明などの反対で否決

3月27日、こまえ社会保障推進協議会から出された「小中学校給食費の無償化を求める」陳情に、自民党、公明党、三宅、吉野、辻村各議員が反対し、否決されました。完全無償化は全国的に大きな流れであり、保護者負担軽減に反対することは、市民の願いに逆行するものではないでしょうか。



を求める市民の声や運動、実施する自治体が増える中で、狛江市では、今年度4月から第3子から給食費の無料が実現しました。大きな1歩です。ただ受けられる人は140世帯とわずかです。さらに運動を広げていくことが重要です。

日本共産党は、国会でも都議会でも給食費無償化を求め、奮闘しています。狛江市議団としても、小中学生全員が無償となるよう全力をあげます。



宮坂良子の
ホームページを
ご覧下さい